

とわいな。千鳥、燭鍋燭かけて、ごひいきの程は、ちよいとがないしよまで、ごないしよまで。

引続いて家の主人又は婿は、本家のナイショに案内して酒宴を開くわけである。然し場所的にこまるので、古くから隣家

が若衆の控所になつており、こゝで樽入れの酒を飲みかわす

風習になつており、現在も続けられている。然もこの樽入れ

行事は、長男の嫁とりの場合にだけ行われているが、近頃で

は、大分改められて、二男、三男の嫁とり、長女の養子とり

の場合にも行われている。それは、樽入れとは言うものの、

当家が全部の酒を購入し提供する訳で、経済的に恵まれない

家にあつては、この行事はしない様である。樽入れにあたつて、婿方が部落の青年団長に、期日時間を申し込み、右の行

事をおこなうが、二男の嫁とりにも、長女の養子とりにも、盛大に行われているのは、そのような理由に基くものである。

そしてこの風習を伝承するためには、若衆も、古老も、タノモシ講や仕事のうち上げの酒の座では、これを話しているようである。

県内では、今はほとんど見られないと思う事は考えられる。結びつきが、何かの形で残つてゐると言う事は考えられる。結

婚簡素化が叫ばれている反面、この行事が盛大に行われてい

るのは、古来若者組（青年団）の団結を示す伝承となつた風習であろう。大野郡白山村の「松入れ」津久見市保戸島の

「青年宿」などの学的な分析については、大分大学半田先生が先に紹介されているので、樽入れ行事のようすのみを資料として紹介する。

（佐賀関小学校教官）

## 佐伯文庫の行方

増 村 隆 也

佐伯文庫は江戸時代学者三大名の一人であつた佐伯藩の八代毛利高標（タカスエ）公が、二万石の財力を傾けてまで蒐集した八万本で、非常に有名である。その内二万冊は十代高翰（タカナカ）の代に幕府に献上し残り六万冊は行方不明である。これに關しては小著佐伯藩史に詳しく述べておいた。

明治維新になつてから或は四散した、否藩の經營していた魚市場の倉庫においてあつたものを、三の丸の城門の楼上と、旧藩邸であつた今の池彦の倉庫にしまつてある等と云われている。私の佐伯で見たのは佐伯久成等に藏する明版法華經だけで、佐伯小学校にある後漢書は四教堂の印だけで佐伯文庫印はない。

九大の山室三良氏は図書館学才一号に毛利高標の愛書精神と題して佐伯探書行の記事の中、「郷土史家に尋ねると三の丸樓門上及び科亭池彦（旧毛利邸）の倉庫に家老日記に混つ

て佐伯文庫の残存図書があるという人、無いという人、私はその何れとも判定し得なかつた。「門あり遠方より来つた」つもりであつたが、遂に三の丸楼門上はあけてもらはず、自らの眼で確認することは出来なかつた。二つ現存する献書目録副本も見せてもらえず空しい調査に心たのしまず佐伯を去つた。」といかにも残念であつたと記している。

佐伯に来て毛利高標公と、佐伯文庫を世に顕彰したいと希望した人は、今迄どれだけあつたか知れない。然しそれは皆徒労に帰した。それは毛利家管理人が一切門をとざして応じてくれないからである。私もその残念組の一人で、何とかして見せて貰いたいと骨を折つたが結局駄目であつた。

私は毛利高標公の百五十年祭を昭和二十五年八月十五日、

歴代佐伯藩主の菩提寺佐伯養賢寺に於て、佐伯史談会主催、佐伯市教育委員会後援と云う形で大々的に法要を営み、又、

多様な行事を行つた。その直前の事である、幸に高標公の著書雅衍（ガエヌ）と毛利家藏書目録とを借観する事が出来た。然し熱望した他の書籍は遂に借りる事は出来なかつた。

私がその蔵書目録を返す時、毛利家管理人片岡丈吉翁に、今この本はどこにあるかと聞いた、老人は即座に、三の丸の樓門と、池彥の倉にあると答えた。蔵書目録の終に書いてある法帳目録の次の行に、全部大正六年一月東京送と書いてあるこの法帳に就て東京の毛利氏に問合せたら、東京の戦災で

全部焼いて了つたとの事であつた。

蔵書目録の書籍が三の丸の樓門にあるか、池彥の倉にあるがそれが目録通りにあるか否か、片岡老を除けば誰一人知る者はない。お倉の鍵は片岡老が握つていて誰一人見せてくれないからだ。然しこの目で見ない内は果してあるのかないのかさっぱり判らない、然し翁も現在相当の老年であるから、何れ毛利家管理人も交替する日が来るであろう。そうすればいつの日か知らぬが何れ秘密の倉は開かれる時が来るに信じている。毛利家蔵書目録はそう意味で写しておいたものである。これを公表する事が決して無駄な企ではないと思われる。九大山室三郎氏初め、毛利高標公の蔵書に就き研究されたする人々に利する所があれば幸いである。

（昭三〇、一〇、一〇）

### 御 藏 書 目 錄

書籍才考号長持

武英殿 聚珍版書

百川学海

温公通鑑

史 緯  
知不足齋叢書

石倉十二代詩選

歴代名臣奏議

文献通考

廿帙	百廿四本
四十本	百廿四本
十帙	百本
十五帙	一百本
八帙	六十四本
十四帙	百四十二本
十帙	百本
十三帙	百卅本
十帙	百本



佐伯文庫の行方

帝京景物略	春秋左伝詳解	春秋直解	篆字彙	廉吏伝	博物典彙	考経集解	金石縹	紫金光輝	風月機闇	花営錦	櫻元叢書	小説選言	幻縁奇偶	幾可原本	大清律指註	居士伝	香爐	蟲箋	園客較義	測量法義	同文備攷	香蓋通憲圖說	沈同文備攷
-------	--------	------	-----	-----	------	------	-----	------	------	-----	------	------	------	------	-------	-----	----	----	------	------	------	--------	-------

六本	十本	六本	十二本	三本	六本	三本	八本	各一本	十二本	八本	五本	十七本	四本	二本	三本	二本	六本	一本	一本	一本	廿一本
----	----	----	-----	----	----	----	----	-----	-----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

献書総目	南唐書	桺經如説	桺經	警世通言	高季迪集	官庫御書目	懷	淳化秘閣法帖考正	史	印	皇明名臣言行錄	書經会論	武經七書彙解	右編	易經兌說	江鵠銷夏錄	黃山谷全集	禮記約述	宋十五家詩選	連城壁内外集	文丞相全集	日講四書解篆	龍陽逸史	空谷集
------	-----	------	----	------	------	-------	---	----------	---	---	---------	------	--------	----	------	-------	-------	------	--------	--------	-------	--------	------	-----

四七

一本	五本	三本	四本	九本	虫本	五本	八本	十本	四本	四本	六本	六本	五本	四本	八本	八本	六本	八本	廿一本	六本	三本	八本	十七本
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	-----

虫入

写本

九本ノ内一本欠

佐伯文庫の行方

四八

献上書目  
御藏書目

劍南詩藁

法華通義

大慧普說

書籍参考長持

禪余内外集

金剛經集註

楞嚴經說

回源錄

法喜志

燕間四適

前漢書

後漢書

巫夢

世盃

綠

野村奸曲錄

神皇正統記

秋田驕動実記

見達物語

和歌題林愚抄

和歌箇の塵

月令博物筌

狂詩語碎金

万國史記

記事論説文例付録

新数学全書  
上等作文五百題

源平盛衰記

一一一括

一一一括

一一一括

三五 峠 峠 峠 峠 峠 峠

一一一 峠 峠 峠

廿五本 二二一本 九十五本 三本 四本 一本 四本 四本 四本 四本廿五本 八本 四本 一本 二六本

八本 二本 一本 一本

虫人

鹿兒島外史

画帖

文明論概略  
評註東菜博議

天主実義  
天滿宮故実

日本小史

小学

詩經書經易經禮記  
史記評林

甲陽軍鑑

柳當秘鑑

唐詩格本

源氏物語

浜のまさご  
歴代古文鈔

東西蒙求

統正  
廿本

一一一 峠 一一一括 峠

五本 二本 四本 六本 三本 二本 二本 三本 四本 四十四本 十一本 六十本 五七本 六本 七本 四本 七本 五本 五本 二本 二本 二本 六本 四十本

古流隱見茶話

英國史

觀善訓蒙

和文教科書

日本政記

小倉色

武將感狀記

統武將感狀記

明良帶錄

博物圖教授法

纂評唐宋八大家文讀本

御祝儀帳写

越後驅動記

政談

繪本豊臣勳功記

通鑑提要

詩經集註

信州仙久床

朝鮮征討始末記

和歌布留能山扶美

俳諧職業書

殿居臺  
青表紙

綱鑑精采

剛向説苑纂註

貞觀儀式

隨鑒記程卷

武隱叢話  
見語大鳴撰

一本 一本

鳩巢小說  
楷行薈編  
新律綱領  
改定律例  
和朝名將画図  
楠一代忠壯軍記  
常山紀談  
類聚国史  
增補和歌題林抄  
講法新論  
軍騎要略  
武教審測抜萃  
源平盛衰記圖繪  
柳當俸秩綠  
復讐二見浦後篇  
武林隱見緑  
英國歩兵練法  
古文真宝全集  
異学教授書  
代數要領  
英國步操新式図解  
日本文葉卷  
繪入唐詩選  
唐詩選  
菜根百事談  
西洋礦術便覽  
世界国書  
和歌八重垣

一本 一本

一本 一本





王右軍書  
仏遺教經

董其昌書  
宋寶鼎齋法帖

宋諸名家書  
停雲館法帖

歐陽彌撰  
二王草書

淳化法帖  
華嚴法帖

紫濃先生草書  
雲鴻亭法帖

蔡襄書  
戲鴻堂法帖

米元章草書  
顏真卿楷書去思歌

蔡襄書  
米南宮蒲澆八景詩

蔡襄書  
途鼎書遊爛荷詩

蔡襄書  
黑珍集刻

合帙一  
一帙

				小階書		小階書					十一帖
				四體		三體					
				階書		階書					
				一帙欠		二ノ卷一帙欠					
				小本		小本					
				一帙欠		一帙欠					
				小本		小本					
				函入		函入					
				壹帙		壹帙					
				壹帙		參帙					
				各壹帖		拾帖					
				(終)		參帖					
				六帖		拾帖					六帖
				四帖		壹帖					壹帖
				八帖		各壹帖					

蔡蘇黃米  
宋四大家帖  
寶賢堂集古法帖  
鑒定墨緣亭